

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

「三重の木」の家

グループの名称

木の郷みえの会

直近採択グループ番号

06-0724-0492

(グループ代表者)

代表者名

村林 稔

代表者印

代表者所属先

松阪木材株式会社

代表者所在地

三重県松阪市木の郷町21

代表者電話番号

0598-20-1122

(グループ事務局)

事務局事業者名

松阪木材株式会社

事務局担当者名

祖父江 功典

印

事務局郵便番号

515-0088

事務局所在地

三重県松阪市木の郷町21

事務局電話番号

0598-20-1122

事務局FAX

0598-20-1127

事務局担当者E-mail

kinosatomienokai@mienoki.com

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		22	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	22	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		9	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		21	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	21	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		11	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	11	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		11	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	配分額が決まり次第、過去の実績と調査をもとに木の郷みえの会グループ事務局で配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「三重の木」の家	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 木の郷みえの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0724-0492	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	柱や土台に関してはヒノキを用いることで、香りやその耐久性を活かす。梁桁には天然乾燥材を用いることで、一般の木材に比べて高い調湿性能を活かす。また腰壁やフローリング等の内装材については可能な限り無垢の木材を活用し、調湿性の向上に加え、体で直接触れた際の快適性や衝撃吸収性を持たせ、視覚的なざらつきも防ぐ。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	梁桁に含水率やヤング係数等が明確な三重県産天然乾燥材を4㎡以上使用することで、三重県産木材の魅力である色・艶・香を活かしつつも、信頼性の高い安全な家づくりを行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	梁桁について露出させる部分を設け、色艶に優れた三重県産天然乾燥材をデザイン上効果的に使用する。	○
④①～③の背景	三重県の木材は全国的に見ても目が細かく、色艶が赤みがかって美しいものが多い。また見た目の良さに加え、強度や耐久性に関しても全国的な平均と比較高い値を示すものが多いため、そういった三重県の気候風土が作り出した木材そのままの魅力を生かす方法として、天然乾燥材の有効活用を目指している。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計委員会とグループの流通事業者でこれまでの物件等を参考にし、グループ内での流通する材料や施工技術を背景とした、効率的な施工方法や標準仕様について検討し、グループ構成員に向けて公開する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 天然乾燥材等、三重県産の横架材を使用する際は、三重県林業研究所発行の三重県産スギ・ヒノキ横架材スパン表に準拠する。	○
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 天然乾燥材に関しては、グループ共通の標準価格表を作成し、ホームページ上の会員専用ページにて、グループメンバーに向けて公開する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木・製材・流通・プレカット等からの参加者も加えた設計委員会を年2回開催する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会でもめられた情報や価格表等について、ホームページ上でグループメンバーに向けて常時公開することで、グループでの生産合理化を図る。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術施工者講習会テキストの断熱施工チェックリスト、あるいはその内容が包含されるチェックリスト等を活用し、断熱施工が正しく行われているか確認を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工者はグループの木材供給業者と協力し使用する天然乾燥材について、住宅購入者に材料の確認または十分な説明を行い、材料の性能やトレーサビリティについて確認を受け、グループ事務局に報告書として提出する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 天然乾燥材に関しては、グループ共通の標準価格表を作成し、ホームページ上の会員専用ページにてグループメンバーに向けて常時公開する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木の郷みえの会ホームページ上にグループ構成員が取り組んだ住宅の写真を掲載する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 取組に関する制度情報又は、関連講習、勉強会等の機会があれば、ホームページ等を活用してグループで共有する。	○
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 労働安全関連で法的・技術的に目立った情報については、ホームページ上で報告する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「三重の木」の家	(地域型住宅供給対象地域) 全国	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木の郷みえの会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0724-0492		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報の		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 確認申請時の図面(配置図、平面図、立面図、断面図)、維持保全計画書を各住宅ごとにまとめ、住宅履歴情報として保管する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実績報告時に、住宅履歴情報をグループ事務局へ提出することを義務付ける。	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者は維持管理計画書を基に計画的なメンテナンスに取り組む。また、長期優良住宅普及促進コンソーシアム「住宅長持ちガイド」を施主に配布することで、自発的な点検や手入れを促す。	○
	②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「三重の木」の家対象物件の構造見学会や完成見学会については、グループホームページ上で告知を行う。	○	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計委員会で維持管理等についての検討を行う。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロ・エネルギー住宅・認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅に関する勉強会を開催。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 梁桁の一部に使用する三重県産天然乾燥材の合法木材は流通量が少ないため、年度毎に天然乾燥材の需給情報を分析し、安定した供給体制の確立に取り組む。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 報告時に提出される納品伝票から天然乾燥材の寸法毎の使用量と棟数を集計し、整理した情報をグループの製材・流通事業者に伝達する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 30 今年度の参加目標人数 20	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 5	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会の開催スケジュール等の情報をグループのメール等に構成員に通知する。また、グループホームページに住宅省エネルギー技術講習会に関する情報を掲載する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅関連で法的・技術的に目立った情報は、構成員に効率的に通知する。構成員から提案があった情報は、設計委員会を中心に検討検証し、ホームページ上で報告する。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 三重県産天然乾燥材の強度試験や含水率の測定を第三者機関に依頼する等して、品質証明の向上に努める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	(地域型住宅の名称) 「三重の木」の家	(地域型住宅供給対象地域) 全国											
2. グループの名称・結成年月（必須）	(グループの名称) 木の郷みえの会	(結成年) 2012 年											
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0724-0492												
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。													
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与													
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄											
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	全ての土台・柱に合法木材（国産材）を使用する。 梁・桁のうち4㎡は合法木材（国産材）の天然乾燥材を使用する。 主要構造材の過半に合法木材（国産材）を使用する。											
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上											
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台：<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱：<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td colspan="2">梁・桁等の横架材等：<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等：<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等：<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等：<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	梁・桁等の横架材等： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		羽柄材	間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している												
	柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している												
梁・桁等の横架材等： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している												
造作材	枠材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している												
板材	壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している												
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	施工業者は地域材使用量が確認できるよう納品伝票をとりまとめ、グループ事務局に提出する。											
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容：天然乾燥材については、木の郷みえの会が把握している在庫・販売価格をウェブ上で確認できるインターネットを活用した在庫管理システムを構築し、グループ構成員との情報共有に役立てる。											
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容：天然乾燥材に関しては、グループ共通の標準価格表を作成し、ホームページ上のグループ会員専用ページにて構成員に向け常時公開する。											
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：前年度までのグループ内での実績をもとに、今年度の地域材の需供量を予測する。											
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：											
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：											
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：											
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：											
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：伝統的な木材乾燥方法である天然乾燥を採用し、三重県産の木材の色・艶・香を最大限に引き出すことで、三重の風土を活かした特色ある家づくりに取り組む。											
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：											
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：											
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：											
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：グループホームページに、参考資料として三重県県土整備部景観まちづくり室発行の「三重県景観色彩ガイドライン」等を掲載する。											
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：											
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。												
カ. その他													
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄											
東日本大震災の復興に資する取組													
平成28年熊本地震の復興に資する取組													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 「三重の木」の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 全国
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 木の郷みえの会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0724-0492	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
木の郷みえの会が取組む高度省エネ型住宅の要件として、下記の低炭素化に資する措置一覧の内、⑦を必須とする。 ①節水に資する機器を設置している。 ②雨水、井戸水又は雑排水の利用のための設備を設置している。 ③HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)又はBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を設置している。 ④太陽光等の再生可能エネルギーを利用した発電設備及びそれと連系した定置型の蓄電池を設置している。 ⑤一定のヒートアイランド対策を講じている。 ⑥住宅の劣化の軽減に資する措置を講じている。 ⑦木造住宅若しくは木造建築物である。 ⑧高炉セメント又はフライアッシュセメントを構造耐力上主要な部分に使用している。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。